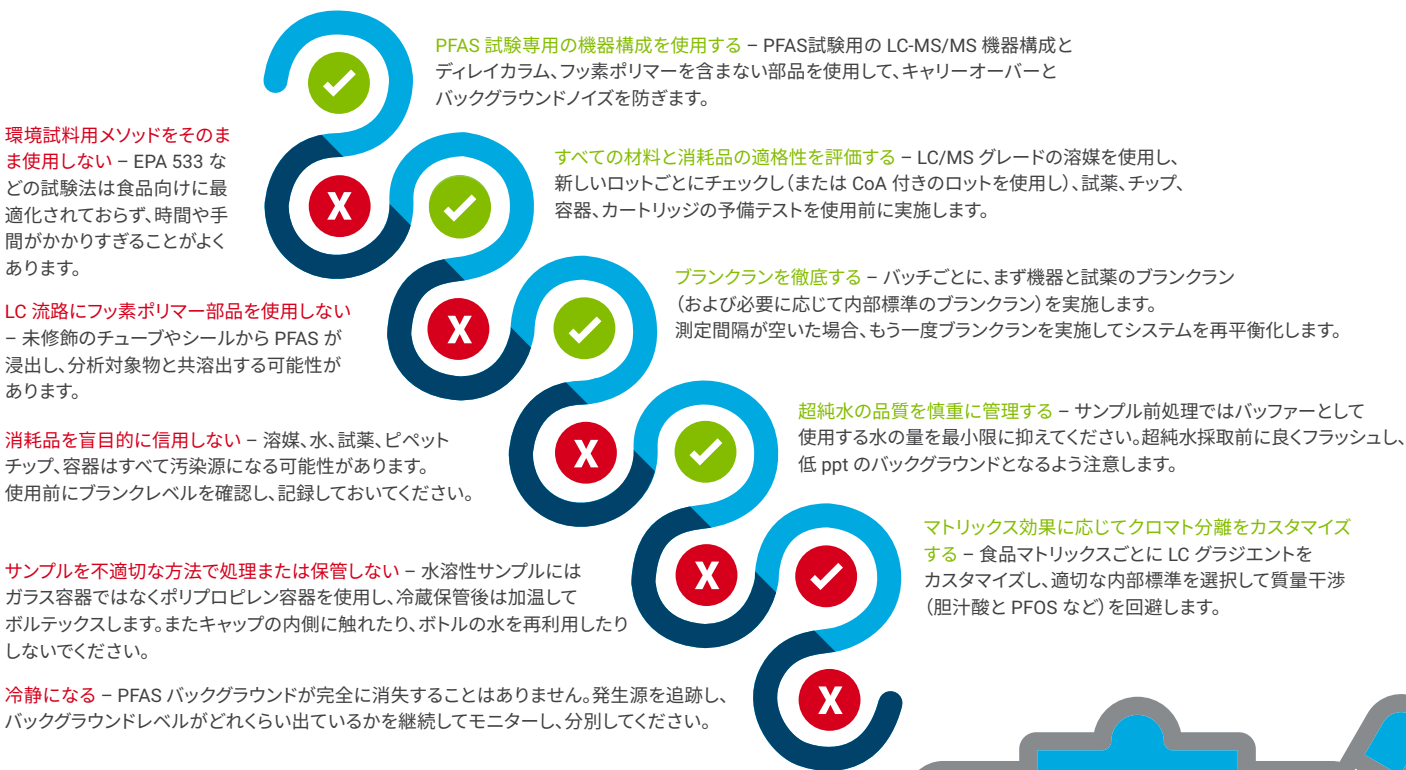


# 食品 PFAS 試験のポイント早見表

食品の PFAS 試験では、特にコンタミネーションや誤った結果が発生しやすくなります。その理由は、機器、消耗品、水、処理プロセスから PFAS が発生する可能性があるためです。この早見表は、バックグラウンドの低減、偽陽性と偽陰性の回避、低 ppt レベルでの確実な分析に役立ちます。



## 食品分析が特殊な理由

食品マトリックスは多種多様であり、環境サンプルでは見られない干渉が発生する

脂肪酸と胆汁酸が、サプレッションやマトリックス効果などの干渉の原因となる



一部の胆汁酸は PFOS と同じ質量であるため、MS だけでは分離できない

マトリックスごとに最適化したクリーンアップとクロマトグラフィー分離によってのみ、定量の信頼性を確保できる

### すべての測定バッチに必要な最初の手順

- 機器ブランク(注入なし)
- 試薬ブランク
- 内部標準ブランク(必要に応じて)

### 一晩経過/待機時間の後

- さらに 1~2 回のブランクランを実施(PFAS バックグラウンドが再出現する可能性があるため)

### ブランクランのチェックリスト

偽陽性に対する最低限の安全策

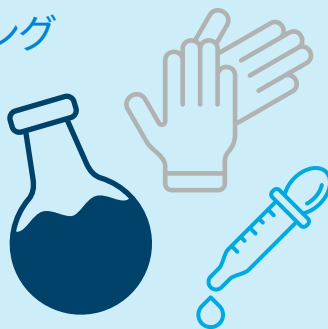
## 10 秒でできるトラブルシューティング

PFAS のピークが出現したら...

ブランクとすべてのサンプルで → システム、移動相、機器のバックグラウンドをチェックする



数個のサンプルのみで → 消耗品や処理方法をチェックする



## PFAS

食品試験の検出レベルは多くの場合 **10 ppt 以下**

